

2020年度 日本木材学会中部支部大会（三重）概要
2020年10月29日 オンライン開催

スケジュール

29日午後

開会式：開会挨拶（木材学会会長・東京農工大 船田 良）

口頭発表24件：A会場12件，B会場12件

閉会式：地域功労賞授与・大会講評（木材学会中部支部長・岐阜大 光永 徹）

閉会挨拶（支部大会実行委員長・三重大 野中 寛）

次回大会予告（富山県農林水産総合技術センター 島崎 清明）

参加者

参加申込者41名（うち学生18名）

表彰

優秀発表賞

A05 アカマツ熱処理材の曲げ疲労特性

（名大院生命農）○勝又遥菜、今枝紘樹、小島瑛里奈、山崎真理子

A12 断続的な応力刺激による広葉樹あて材形成

（名大院生命農）○竹内瑞希、吉田正人、松尾美幸、山本浩之

B01 ヒノキ科樹木材精油香気成分がコルチコステロン投与マウスに与える影響

（岐阜大自然）○福岡晃帆、山内恒生、光永 徹

B07 細胞壁形成に関わる化合物の貯蔵量および分布の時間的変動

（名大院生命農）○高田駿介、青木 弾、松下泰幸、福島和彦

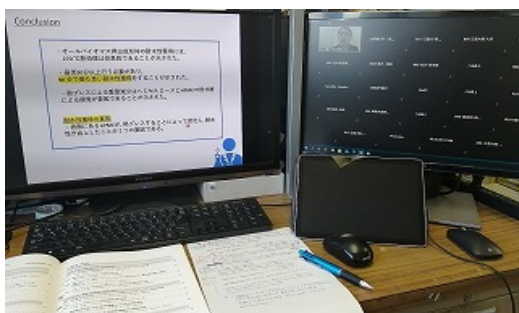
開催地より

本大会は、当初、三重大学三翠ホール（講堂）での開催を予定していました。例年は、初日昼に評議員会、午後に発表会と懇親会、2日目見学会が行われます。これに対して今大会は、会告作成時より、オンライン実施になる可能性を想定し、2日目の見学会を中止、参加費を銀行振込（例年は当日会場にて徴収）にしておきました。比較的感染者数の少ない地方の支部大会であることから、ぎりぎりまで対面実施を模索しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大は先を見通せず、参加者の安全を最大限に考え、8月末オンライン開催への変更を決断しました。同じく8月末に発表申込を締め切り、ポスターでお申込

みいただいた方には口頭発表への変更をお願いし、口頭発表計 24 件の学会となりました（昨年度大会：口頭 13 件，ポスター 15 件）。参加申込者数が，昨年（68 名）より大きく減ったのは残念ではありましたが，発表内容は，木材の物性，材質，耐久性向上，乾燥，パーティクルボード，CLT，屋内環境，木質構造，抽出成分利用，化学合成，半炭化，細胞壁，リグニン，塑性流動など，基礎から応用まで，分野も多岐にわたり，両会場では活発な質疑応答が行われました。

オンライン学会・イベントに参加すると，声が入らない，顔が映らない，画面を共有できないなど，様々なトラブルに遭遇します。本大会は，大会前，発表者の皆様に事前練習にご協力いただき，さらに当日休憩時間での事前試写を徹底し，A 会場，B 会場ともこれといったトラブルなく終了することができました。またオンラインイベントの難しさは，参加者の顔が見えず，学会に参加している感覚や，一体感を得にくいことだと感じています。閉会式に，皆様にビデオ ON をお願いし，発表が終わって笑顔あふれる学生の顔が映し出され，少しは学会の雰囲気がでたかなと感じました。発表者，参加者の皆様には，改めて御礼申し上げます。

現在，大会開催時の 10 月以上に，全国的に感染者数が増加しており，さらに先が見通せない状態に陥っています。感染症が早期に終息し，来年以降の日本木材学会中部支部大会が，再び対面で賑やかに開催できることを願うとともに，日々最前線で懸命な努力で対応されている医療関係者の皆様に，最大限の感謝の気持ちを表します。



B 会場運営の様子

（本報告執筆のため，研究室学生発表を撮影）



閉会式の様子